

廣井官倉に
貢米と納る國

太閤秀吉公小田原北条退治の時尾張の國之儀田信雄公加勢の兵糧の貯へりて用途大なりしを福島正則公の時其先蹤にあつて數百間の大倉三楹と清波の城内に作りて多く此兵糧と納りて一乘又十五年御遷府の時之清波の二楹と比度井より多く此倉と作りて之を治りてしとて其倉名を三ツ花と今に於て三ツ花と云ふ

とてりて
尾張
池とてり

六免

水乃

あか

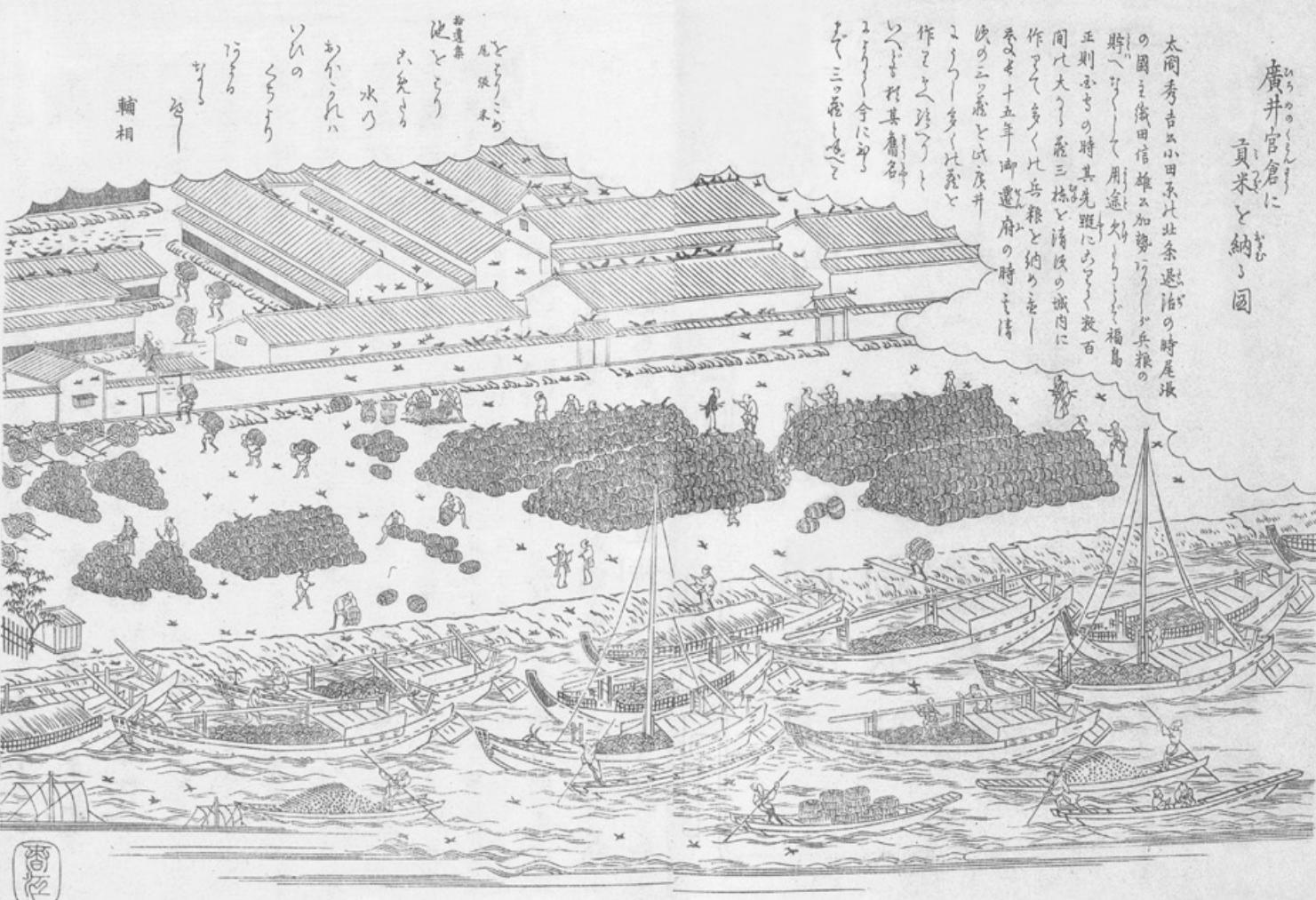
いひの

くら

ちし

ちし

輔相



第146期

中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

東陽倉庫株式会社
TOYO LOGISTICS CO., LTD.

証券コード：9306

「もの」づくり、人の「暮らし」を支える 東陽倉庫



代表取締役社長
黒田 城児

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、東陽倉庫株式会社の第146期中間報告書をお届けいたします。

当中間連結会計期間における日本経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費は、賃金の上昇により持ち直しの兆しがみられ、また、企業の設備投資は幅広い業種において増加し、輸出や生産も増加傾向にありました。景気の先行きについては、人件費や様々なコストの増加等を背景とした物価高の影響、また、金融引き締め政策の影響および中東情勢の悪化等による地政学リスクの高まりなど、不透明な状況が続いています。

このような事業環境の中、当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

【物流事業】

倉庫事業は、保管残高が期間を通じて低調に推移しました。貨物の取扱いは、非鉄金属が大きく減少しましたが、2024年1月、新規荷主の取扱い開始により食料工業品が増加するなど堅調に推移しました。また、配送センター事業は横ばいで推移しました。

港湾運送事業は、全般的に低調に推移しましたが、後半に入り自動車の輸出取扱いが大きく増加しました。国際輸送事業は期間を通して低調に推移しました。

この結果、営業収益は141億5百万円（前年同期比+3.8%）、セグメント利益は7億9千8百万円（同-7.6%）となりました。

【不動産事業】

不動産事業は、賃貸料、請負工事の受注が増加したことにより、営業収益は3億4千4百万円（同+6.5%）、セグメント利益は1億4千3百万円（同-0.5%）となりました。

これらの結果、当期間における当社グループの連結営業収益は144億4千9百万円（同+3.8%）、連結経常利益は9億2千2百万円（同-5.5%）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は6億9千4百万円（同-7.7%）となりました。

なお、当社は2024年10月28日付で、当期の通期連結業績予想の修正を発表し、経常利益は15億円から18億円に、親会社株主に帰属する当期純利益は10億5千万円から14億円にと、本年5月10日付で公表した予想からそれぞれ上方修正しました。

また、当期の配当金については、1株当たり中間配当金を、前期から2円50銭増配し、30円としました。さらに当期の期末配当金についても、上記5月10日付の公表予想額から2円50銭増配し、中間配当金30円と合わせて年間で1株当たり60円としました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

連結財務ハイライト

■ 通期 ■ 中間



- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中の平均発行済株式総数により算出しております。なお、期中の平均発行済株式総数は、自己株式数を控除した株式数を用いております。
2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。このため、第143期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的とし、対象となる株主様へ株主優待を進呈いたします。

- 対象となる株主様
毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式500株（5単元）以上を保有し、かつ、継続保有期間1年以上（※）の株主様
- 株主優待の内容
- 進呈時期
毎年6月開催の定時株主総会招集ご通知に同封してご送付
※毎年3月31日および9月30日を基準日とする株主名簿に同一株主番号で連続して3回以上記載または記録された株主様といたします。

保有株式数	優待の内容
500株以上1,000株未満	ギフト券2,000円相当
1,000株以上	ギフト券5,000円相当

会社概要

商号：東陽倉庫株式会社 (TOYO LOGISTICS CO.,LTD.)
所在地：名古屋市中村区名駅南二丁目6番17号
創業：1893年（明治26年）10月1日
設立：1926年（大正15年）3月13日
資本金：3,412百万円
事業：物流事業・不動産事業

グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC. (米国)
	東誉（上海）国際貨運代理有限公司（中国）
	TOYO LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
	TOYO SOKO (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

株式の状況 (2024年9月末日現在)

発行済株式の総数：7,864,990株
(自己株式266,231株を含む)
株主数：6,569名

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
定時株主総会：6月下旬
単元株式数：100株
公告の方法：当社ホームページ
(<https://www.toyo-logistics.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
特別口座管理機関：〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
上場市場：東京証券取引所（スタンダード市場）
名古屋証券取引所（プレミアム市場）